

国際日本学部 2023 年度夏期 海外ボランティア・プログラム

参加報告書（インドネシア・ブディール大学）

① 本プログラム参加のきっかけ・目的について（200 字以上）

異文化を肌で感じ、自分の価値観を広げることが本プログラムに参加した目的でした。国際日本学部に入學して幅広い分野の講義を受講していますが、実際に日本から飛び出して体験を通して異国について理解したいと思い、本プログラムへの参加を決めました。また、インドネシアの学生と交流しながら、現地の食事・踊り・歌などに触れることができる点もこのプログラムの魅力であると感じました。私たち日本人が現地の学生に日本文化を伝える機会もあり、日本についての理解も深めることができました。

② プログラム内容について（各項目 200 字以上）

1. ボランティア活動・ワークショップについて

ブディール大学に来た高校生に日本文化を教えるボランティアでは、短い期間でやる内容を決め、役割分担などをする必要がありました。私は人前で話すことが得意ではないので始めは緊張していましたが、高校生たちが楽しんでくれている姿を見るとやってよかったと思いました。また、高校生からもインドネシア語や文化について教えてもらい、そのような交流ができたことがとても嬉しかったです。また、道行く人に自分たちが作ったランチを配るボランティアではたくさんの方がランチを受け取ってくれました。ランチをつくる過程でインドネシア料理についても知ることができて良かったです。

2. 授業（インドネシアの歴史や文化、インドネシア語）について

ボランティアをするだけでなく、インドネシアについて学ぶ時間が設けられていた点もとても良かったです。インドネシア語は現地の先生が教えて下さり、また現地の学生との交流の中で覚えられる単語もありました。バディたちと一緒に博物館に行った際には、バディがインドネシアの歴史について知っていることを一生懸命話してくれて、私も彼らのように自国についての知識を深めていかなければならないと気付かされました。歌の授業ではインドネシア語で歌を歌ったことが新鮮でした。

3. フィールドトリップ（バンドンツアー）について

バンドンではバディたちと一緒に夜の町中を歩くことができました。道の雰囲気などが日本とは違い、歩いているだけで新しい発見があり面白かったです。バンドンはジャカルタよりも気温が低いため、朝の散歩ができたことも、とても良い思い出になりました。散歩の途中に大きな公園に寄って自然を堪能することもできました。また、インドネシアの伝統的なダンスを見る劇場にも行きました。ダンスパフォーマンスだけでなく、さまざまな人形や楽器を見ることができとても充実した内容でした。最後には私たち参加者も竹でできた楽器を触らせてもらい、とても面白かったです。

③ 本プログラムを終えての学習成果・感想（200 字以上）

本プログラムを通して、現地のバディ・先生方のやさしさに触れ、私も留学生や海外の人に対して同じ

ように接したいと思う気持ちが強まりました。もし、彼らが日本に来ることがあれば最大限のおもてなしをして迎えたいと思うような交流ができました。また、言語が異なる人と話すとき、言葉の出来・不出来よりも相手に伝えたい！という気持ちの強さのほうが大事であると感じました。お互いの母語が違って英語という手段を通して会話ができたことで、自分の自信にもつながりました。日本にいたらできない体験をいくつもさせていただき、貴重な経験となった上に、精神面で成長することができたプログラムでした。本当にありがとうございました。

④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）	
1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について	宿泊した寮の周辺はあまり治安が悪い感じはしませんでした。しかしジャカルタという都市部で、人ごみに行く機会もあったため、貴重品は常に携帯しておいたほうが良いと思いました。
2. 食事について	食事は、現地の方々になるべく辛い食事を配慮して提供してくれていた気がしました。ただし、比較的油物が多かったため、日本のご飯や味噌汁の素なども持っていくことをおすすめします。
3. 交通手段について	MRI に一度だけ乗れたのが良い思い出です！基本的に出かける際は大学側がバスを出してくれていました。グループ行動などの際は現地のタクシーを利用することもあったため、少額の現金を常に携帯しておくと思えます。
4. 通信環境について	大学では大学の wifi を繋げていましたが、常に使えるという感じではありませんでした。また、寮も部屋によっては wifi が繋がりにくい部屋があったようなので、心配な人は SIM カードなど買っていくと良いと思います。
5. 買い物事情について	パティたちが頻繁にモールやスーパーなどに連れて行ってくれました。滞在の最後のほうは大学のバスの運転手さんをお願いして寮の近くのスーパーで降ろしてもらい、買い物をすることもありました。基本的な生活用品は現地でも売っているので、すべてを日本から持っていく必要はないと思います。
6. 医療事情について	
7. その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。	
6.医療事情について（6.の項目に入力できなかったためこちらに書かせていただきます。）	私は最終週に体調を崩し、現地の病院へ行きました。現地の担当者の方が日本語が通じる病院を紹介してくださいました。ただ、そこで処方された薬が私には合わなかったため、日本でも購入できる頭痛薬・吐き気止めなどは日本から持っていくことをお勧めします。7.生活等に関して:洗濯をできる日が限られているので、例えばタオルなどは小さいものを多めに持っていくことをお勧めします。また、水道水が飲めないため、現地についたらミネラルウォーターを多めに買うと良いと思います。

以上